

相馬ゆうこの



HP

南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室（荒川区役所内）

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

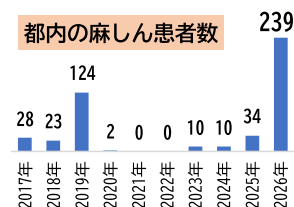
✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

麻しん(はしか)の感染拡大～大人も注意

全国で麻しん（はしか）の感染者数が増加、とくに感染者の半数程度が東京都に集中しています、みんなで気を付けたい。

20～30代が中心に 都内では5月14日時点で239人と、2009年以降最多に。年代別では20～30代が多く、20代では新宿の飲食店で集団感染も。海外渡航での感染から国内でも広がっているようです。



10代の感染は50人ですが、そのうち41人は新宿区の小学校で4月に発生した集団感染によるものとのこと。

“子どもがかかる病気”というイメージが強いですが、成人で感染が拡大しており、注意が必要です。

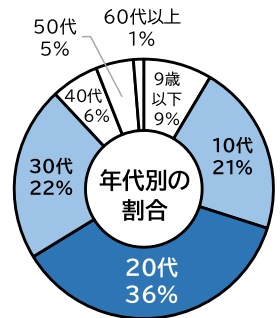
2回接種していますか 麻しんは感染力が非常に強く、飛沫や接触、空気感染も。感染予防には基本的な対策とワクチン接種が有効として、2006年から子どもに2回の定期接種が行われています。24年度の区内の接種率は1回目96.7%・2回目90%で、ワクチンの流通が不安定だった事情もあり、1割が1回のみに。

千代田区は成人へ助成 また、2回接種が始まる前の「1990年4月1日以前生まれで麻しんにかかったことがない」方は、抗体がじゅうぶんでない可能性があります。麻しんの抗体検査は通常3千～5千円、一般のワクチン接種は5千～1万円かかりますが、感染拡大をうけ、千代田区は19～49歳の区民や区内保育施設の職員等に対し、無料のワクチン接種を6月から実施予定。



まず抗体検査を行い、必要な場合に接種を実施するとのこと。

荒川区でも緊急に、抗体価が低い成人などへ助成を検討してはと思います。



【麻しんにかかると…】

感染すると約10日後に発熱や咳などの症状があらわれ、2～3日経つと高熱、発疹が出ます。肺炎や中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人の割合で脳炎の発症も。

19歳未満は無料で接種できます

区内在住の2～19歳（定期接種の対象外の方）で麻しん風しんのワクチンを未接種又は1回のみ接種の方に、無料で接種を実施しています。詳細は下記まで健康推進課 予防接種係 ☎03-3802-3111(内線:3901)



学校・幼稚園のサクラが高齢化…安全対策は

猛暑の影響や老朽化などによる、街路樹や公園の樹木の倒木・枝折への対応が全国で課題となっています。3月には世田谷区の砧公園で10m超のサクラなど計5本が倒れ、5月には杉並区の善福寺公園でも約30mのクヌギの倒木が発生。都によると2025年度は倒木による怪我が3件あったとのことで、改めて安全対策が求められています。



幼小中のサクラ310本 区内小中学校のソメイヨシノも大半が樹齢50年を超えており、区教育委員会は「台風などで倒木や枝折れの危険がある」として2024年度に樹木点検を実施。区立幼稚園・小中学校あわせて310本のうち「樹木医の詳しい診断が必要」な樹が265本で、区教委は25～27年度の3年間で診断を実施するとしました。



樹木本数

25年度は1／3程度の91本の診断を実施、そのうち「伐採が必要」が8本、「伐採の可能性あり」が21本に。

すでに24～25年度に緊急対応として、未診断の樹もふくめ11本を伐採、枝落としも121本行っています。

ソメイヨシノ 植替えに 今後、診断結果をもとに危険性の高いソメイヨシノの伐採、枝落としをすすめます。伐採後の新たな樹の植樹は周辺環境や校舎の建替えとあわせて検討するとしており、ソメイヨシノ以外の品種への植替えがすすみそうです。

街路樹のソメイヨシノも伐採がすすんでおり、卒入園・学時の風景も変わっていきます。

	幼稚園 8園(※)	小学校 24校	中学校 10校	計
樹木本数	7本	222本	81本	310本
【24年度】	↓	↓	↓	↓
樹木医の診断が必要	6本	195本	64本	265本
【25年度】	↓	↓	↓	↓
診断を実施	3本	66本	22本	91本
枝落としが必要	1本	26本	13本	40本
伐採の可能性有	なし	18本	3本	21本
伐採が必要	なし	7本	1本	8本
【24～25年度に対応済】				
伐採	1本	9本	1本	11本
枝落とし	なし	108本	13本	121本

※幼稚園…現在は5園に減少

〈法律・生活相談〉

6月の定例法律相談日は 11日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の昼間に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

区内の現状「地域の介護事業所守って」

物価高騰・資材不足の中、介護現場の実態をうかがおうと、日本共産党区議団で区内の介護サービス事業所のみなさんからヒアリングを行いました。

日々の運営は

- プラスチック手袋の販売数が制限された
- 事業所の賃料が2.5倍に
- デジタル化がすすむ一方で、日々の通信料、サポート代、セキュリティ費用など負担がふえた
- 処遇改善加算を取るための事務の手間が大変

- 高齢化、30代がいない
- 人手不足で新規依頼を受けられないことも
- シャドーワーク（勤務外の仕事）が多くて大変…代行ができないか
- デジタル化でツールはあっても、仕事そのものが変わらないと大変さは変わらない



ケアマネが大変！

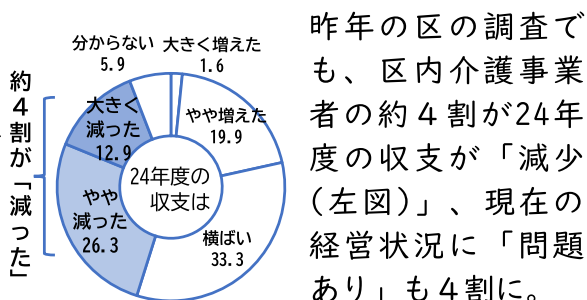
- 区内の待機者は370人…必要な時に入れる状況とは言えない
- さいたま市、岩槻市、川口市などから特養の営業が来る…せめて近場で入所できるような仕組み（行政間の連携など）があったらいいのに

特養ホームに入れない

人手不足の現状

- 新しい施設が職員不足で、定員まで受け入れることができないと聞いた
- デイサービスが閉鎖し、利用者さんは他施設に移ったが、移転先のデイも閉鎖に。こんなことは今までなかったのでびっくり
- 送迎の運転手不足が深刻。介護職は賃上げの報酬加算があるが、運転手は専門職とみなされず加算がないため賃金が低く、人材確保が難しい

制度あって 国の「介護事業経営概況調査」では、2024年度決算で利益率「5%未満」の事業所が64%に。



区の介護保険料（65歳以上の基準額）は23区で最高額ですが、高い保険料を支払っても、そもそも介護事業所がなければ介護は受けられません。事業所の経営安定や職員の処遇改善に介護報酬の基準額引き上げと、高すぎる介護保険料引き

下げに国の財源割合の引き上げが不可欠、区の独自支援も求めています。

介護保険の 財源構成	1割		9割			
	利用者負担		公費 50%		保険料 50%	
	国	都	区		40～64歳	65歳以上
	25%	12.5%	12.5%		27%	23%

介護の充実 13日(水)の区議会委員国に求める 会では、区民から出された「介護保険料値下げと介護サービス充実を求める」陳情が「趣旨採択」に。共産党は「採択」を主張しました。

陳情は、国の財源引き上げの意見書を区議会から提出するよう要望しており、区民のくらしをまもる介護サービス充実、に、議会から声をあげるよう提案します。



「お買い物券がデジタル化？紙はどうなる？」

区内のお買い物券についてご質問いただきました。

荒川区のお買い物券がデジタル化されると聞きましたが…紙の券はなくなってしまうのでしょうか？スマホはなかなか使いこなせず、デジタル化でお買い物券が使えなくなるかもと心配です



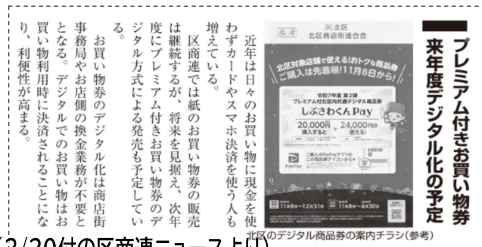
荒川区の新年度予算で、プレミアム付きお買い物券をデジタル化する、との発表がありました。例年は11月頃に販売されますが、今年度は6～7月頃にもキャッシュレス決済を活用したプレミアム

率30%のデジタルお買い物券を、オンライン上で販売予定です。あわせて、例年通り11月末頃にプレミアム率20%の紙のお買い物券も販売します、ご安心ください。



地域の活性化 なるか

区内では、2022年に物価高対策としてキャッシュレス決済のポイント還元が実施されましたが、小売・飲食店では「決済手数料の負担が重い」「翌月末まで現金化されない」などの課題があり、キャッシュレス決済導入率は3～4割に、還元実績は想定の4割程度でした。



(2/20付の区商連ニュースより)

今回、区は「キャッシュレス決済対応も一定程度進んでいる」「地域経済の活性化につながる」として、区商店街連合会と連携しデジタルのお買い物券の販売にふみきりました。

キャッシュレス化は時代の流れで便利な面もありますが、事業者の負担軽減も考えたい。

ビザ厳格化で…「行きつけのお店が閉店？」



昨年10月、日本で事業を行う外国人の在留資格「経営・管理ビザ」が、資本金要件500万円→3000万円に引き上げなど厳格化に。3年間の経過措置がありますが、ビザを更新できずにアジア料理店などが各地で閉店しています。

同ビザで在留する人の9割は資本金500万円程度で「長く日本で商売を続け、子どもは日本語しか話せないのにどうしたら」と切実な訴えも。区内にも同ビザ在留者は376人おり、「行きつけのカレー店の店主から閉店するかもしれないと聞いた」と区民から悲しみの声が寄せられています。政府のいう「不正な」ビザ取得は全体の1%未満、真面目に働く人をも排除する制度は考え直してほしい。

ご意見・ご質問頂きました

○「年々住みづらくなっている気がする、さくらバスがあてにならず、中・大病院が少なく、夜中の急病が不安、将来住み続けるか検討中」○「住民票と印鑑証明で1時間以上待機。区役所内で段ボールが積み上げられて生理整頓、震災時対応がちょっと心配に」○「バス停があっても利用できず変。汐入から乗り換えなしで区役所を一周できるバスを一時間に3～4本運行してほしい」…みなさんから頂いたさまざまな声を区長や担当に届け改善につなげたい

